

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第12回安塚区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1) 協 議（公開）

(1) 次期委員への申し送り事項について

(2) 安塚区地域協議会としての審議内容について

### 2) 報 告（公開）

(1) 地域活動支援事業に係る変更申請について

(2) 雪室の建設について

(3) 久比岐野の改修等について

### 3) その他（公開）

## 3 開催日時

令和2年3月17日（火）午後4時00分から午後5時30分まで

## 4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田嘉久、石田ひとみ、數井憲一、國保信夫、小松光代、中島勝義

中村真二、長谷川直樹、秦克博、松苗正二、松野等、山岸重正

・事務局：安塚区総合事務所 市川所長、大橋次長、石川市民生活・福祉グループ長

（併教育・文化グループ長）、村松班長、仮澤主事

・浦川原区総合事務所：大坪所長、田中産業グループ長、柳澤班長

・施設経営管理室：新部室長、丸田副室長、小関主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【大橋次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：数井憲一会長

### 【数井憲一会長】

- ・ 挨拶

それでは協議事項（1）次期委員への申し送り事項について説明を求める。

### 【仮澤主事】

次期委員への申し送り事項について説明する。

4月28日で現在の委員の任期が終わり、4月29日から新委員の任期が始まることから、次期委員への申し送り事項があれば協議をお願いする。

その後、お一人ずつ4年間を振り返って一言お話いただきたい。

### 【数井憲一会長】

まず、次期委員への申し送り事項についてだが、意見等あるか。

（「なし」の声あり）

それでは申し送り事項はないこととする。続いて、一人ずつ4年間を振り返って一言いただきたい。

### 【山岸重正副会長】

1つのテーマを持って4年間様々な協議をしてきた。それが地域に貢献できたのかは分からないが、何かしらの足掛かりになったと思っている。

### 【池田嘉久委員】

地域の会合に出ると地域協議会委員として周りから認められるようになってきた。地域の実情を知ろうと地域へ入るが、実情を掴むのが難しい場面もあった。今後も地域がより良くなるよう、アドバイス等できればと思っている。

### 【石田ひとみ委員】

今期初めて委員として4年間務めさせていただいた。自分の経験の浅さから、周りに迷惑をおかけして申し訳ないと思っている。協議の中で色んな方の思いを聞いたが、それに対し自分がどうできるのか、どう解決すればよいのか、難しい場面が多かった。

**【小松光代委員】**

今期で2期務めさせていただいた。長く務めていながら、地域の声を吸い上げることが中々できなかつたと思う。地域協議会委員として、多くの勉強の場を与えていただいた。

**【國保信夫委員】**

若い方々から活発に議論していただいた。地域協議会としてどのような成果を出せたか、よく分からないうちに任期が終わってしまったように思う。すごくいい経験をさせていただいた。

**【中島勝義委員】**

16年間地域協議会委員をやらせていただいた。16年間務めても分からないことはまだまだある。今後委員を務める若い方々には期待している。

**【中村真二委員】**

他区の方から地域協議会の話聞いて、自分に務まるか心配であったが、安塚区地域協議会の皆さんは真面目でよい方ばかりで4年間なんとか務めることができた。今後も地域を良くするため頑張っていきたい。

**【長谷川直樹委員】**

今期で2期目が終わる。地域の課題が山積している中、地域協議会へ吸い上げることができなかつたことを痛感している。町内会の会合で地域協議会委員があまり認知されていないことを知り非常に残念であった。来年度から総合事務所の時間外受付が見直される。それに対し地域が思っていることをもっと発言するべきであったと感じている。

**【秦克博委員】**

地域協議会委員12名の中では最年少で、先輩方の色々な意見を聞くことができ非常に勉強になった4年間であった。

**【松苗正二委員】**

色々な地域の代表である皆さんとの活発な協議に参加させていただいた。皆さんの地域に対する思いを感じることができた4年間であった。

**【松野等委員】**

勉強不足と協議会の勝手が分からず戸惑ったこともあったが、進行に支障がでないよう協議することができた。できるだけ出席、発言しようと思っており、十分に責務を果

たせたと思っている。もう少し地域の声を聴くことができればよかった。

**【數井憲一会長】**

分不相応ではあったが、皆さんから御協力いただき、協議を進めることができた。

12年間地域協議会委員を務めさせていただいたが、地域協議会委員の責務として、発信力の不足を痛切に感じた。もっと発信力を高めればよかったと反省している。本日が今期最後の会議になるかもしれないが、来期委員を務める方には、ぜひとも頑張ってもらいたいと期待している。

それでは次へ移る。協議事項（2）安塚区地域協議会としての審議内容について、事前の提出があったか事務局に確認する。

**【大橋次長】**

事前の提出はない。

**【數井憲一会長】**

この場でもよいが、委員の提案等を求める。

（「なし」の声あり）

それでは次へ移る。報告事項（1）地域活動支援事業に係る変更申請について説明を求める。

**【仮澤主事】**

地域活動支援事業活動に係る変更申請について説明する。

2月22日に山のうへの雪まつり実行委員会から「上越市地域活動支援事業費補助金事業変更承認申請書」の提出があった。

内容は事業内容の一部変更である。当初の申請では、事業プログラムに補助対象であったスカイランタンの打ち上げがあったが、強風のため中止するものである。提案団体への聞き取りでは、購入したランタンは来年度の山のうへの雪まつりの際に打ち上げる予定とのことであった。

事業実施までに係った費用は対象経費とすることから、補助金額については変更がなく、事業内容の一部の変更であることから、報告事項として説明させていただいた。

**【數井憲一会長】**

何か意見等あるか。

（「なし」の声あり）

それでは次へ移る。報告事項（２）雪室の建設について説明を求める。

【浦川原区総合事務所田中産業グループ長】

雪室の建設について資料N o. 1に沿って説明。

【數井憲一会長】

雪室の管理については指定管理で行うのか。

【浦川原区総合事務所田中産業グループ長】

指定管理ではなく、従前の委託管理で行う。

【數井憲一会長】

他に質問等あるか。

（「なし」の声あり）

それでは次へ移る。報告事項（３）久比岐野の改修等について説明を求める。

【施設経営管理室新部室長】

久比岐野の改修等について、資料N o. 2に沿って説明。

【數井憲一会長】

質問等あるか。

【長谷川直樹委員】

指定管理の引受け手がいなければ、せっかく予算を計上したとしても意味がなくなってしまう。今の見通しはどのようなものか。

【施設経営管理室新部室長】

いくつかの事業者にあたっており、前向きなお言葉をいただいている事業者もいる。私どもとしては、可能性は大きいものと考えているし、ぜひ交渉成立をさせたいと考えている。

【長谷川直樹委員】

雪の湯は休止という方針であるが、抑揚ポンプの工事は行わないのか。

【施設経営管理室新部室長】

見込みの話であるが、現在源泉井戸の調子が悪く、雪の湯を再開できない状態である。その原因を専門事業者に特定する作業をしていただいているが、原因を特定でき、すぐに対応できるものであれば源泉の汲み上げ量は確保できる。

仮に抑揚ポンプをガスの湧出が少ない下の方まで下げるということになると、法令上、

県の審議会にかけなければならない。審議会も開催回数が決まっており、直近の審議会が7月である。7月にかけるには4月に申請書類をまとめて申請しなければならない。それに向けて源泉調査をしているところである。審議会にかけないでもよい原因であれば、源泉の確保はすぐに回復する可能性が無いとは言えないが、審議会にかける必要があった場合、7月の審議会にかけ、許可が下りるのが8月、8月から源泉のポンプの引き下げ等に取り掛かるとすると、雪の湯は11月に久比岐野に集約する予定であることから概ね時期が同じになる。

**【數井憲一会長】**

久比岐野の浴槽の大きさはどの程度になるか。

**【施設経営管理室新部室長】**

現在のものから3倍程度の大きさになる。脱衣所、浴槽、洗い場すべてリニューアルする。

**【數井憲一会長】**

ここは子どもの田舎体験を受け入れしている地域である。田舎体験に来た子どもたちの入湯は可能になるか。

**【施設経営管理室新部室長】**

大きさの中でのやりようによっては可能であると思う。

**【數井憲一会長】**

湯量が減ったのは今年の11月からと資料にあるが、11月で間違いはないか。

**【施設経営管理室新部室長】**

ポンプの汲み上げ量である。そこでポンプを入れ替えたところ、ポンプにガスが絡むようになった。

**【數井憲一会長】**

久比岐野は改修が終わるまでは営業はしないのか。

**【施設経営管理室新部室長】**

現在経営する管理者がいない状況にある。指定管理者を探すことを最優先で行い、見つかった際にすぐ営業再開できるよう施設を適正に維持管理していく。

**【小松光代委員】**

浴槽が3倍になるという話は聞いたが、広間や休憩所等は変わらないのか。

**【施設経営管理室新部室長】**

基本的には浴槽の改修工事であるので、他の部分は改修工事に含めていない。しかし、類する質問を議会でもいただいている。建物の構造上、大規模改修が困難である。小規模な修繕で対応できる部分は、予算の範囲で、新たな指定管理者と一緒に工夫していきたいと考えている。

**【中島勝義委員】**

5月に田舎体験が決まっている。指定管理者が決まらない場合はどうするのか。

**【浦川原区総合事務所柳澤班長】**

田舎体験事業については、新型コロナウイルス感染症の流行により学校が休校になっているところもあり、今の段階でははっきりとしていない。キューピットバレイに代わる近隣施設で民泊等できないか確保できるよう進めている。

**【長谷川直樹委員】**

キューピットバレイを市の直営で運営することは可能なのか。久比岐野がなくなると私たちが飲食する施設がなくなってしまう。区民としては直営でもなんとかお願いしたい気持ちである。

**【施設経営管理室新部室長】**

まずは次期事業者を探すことに全力を尽くしていきたいということで御理解いただきたい。

**【數井憲一会長】**

指定管理料の2, 772万円というのは前年度と比べてどうなのか。

**【施設経営管理室新部室長】**

指定管理料は、(株)キューピットバレイとの契約に基づいて指定管理料の予算に入れている。(株)キューピットバレイとの指定管理期間が令和元年度から令和3年度までで、令和2年度は真ん中の年である。3年間の指定管理料を指定管理者の意向で、平均に均す事業者と初年度に多くもらい段々下がっていく事業者と様々であり、(株)キューピットバレイは初年度に多くもらいたいという意向であったため、令和元年度よりも指定管理料が少なくなっている。

**【松野等委員】**

キューピットバレイだけでなく、物産館や小さな空等波及効果が大きいと思う。次の

指定管理者を早急をお願いしたい。また、久比岐野の入口が入りにくいという話を聞いたがそれはいかがか。

**【施設経営管理室新部室長】**

今回の改修は浴槽の改修であり、それ以外の部分は手をつけないことから、今回は御意見としていただき、新たな指定管理者との間でどう運営させていただくか協議させていただく。

**【長谷川直樹委員】**

頑張って指定管理者を見つけていただきたい。

**【施設経営管理室新部室長】**

私どもも雪だるま高原施設は観光振興や地域経済への影響が大きい施設であると捉えており、なるべく早い段階で再開できることを目指して頑張っていくので御理解をいただきたい。

**【數井憲一会長】**

他に質問等あるか。

(「なし」の声あり)

続いて、5のその他だが、連絡事項等あるか。

(「なし」の声あり)

全体を通して、意見等あるか。

**【長谷川直樹委員】**

久比岐野の改修について先ほど説明をいただいた。市は指定管理者を早急に探すという意向であるが、区内では有志の方々が雪だるま高原の運営存続を求める会という組織を設立され署名活動が始まっている。市がキューピットバレイを廃止するということは言っていないが、地域として強く存続を望むという意思のもと署名活動をやっているのだと思う。私たちが市の意向を聞いて、任期4年間の集大成としてより一層の存続をお願いする要望書を提出してはいかがか。

**【數井憲一会長】**

地域協議会として地域の課題が現れた中でこのままでいいのかという意見であるが、いかがか。

**【池田嘉久委員】**



キューピットバレイは安塚区の経済の中心となってこれまでやってきた。それがなくなると色々な面で不都合が出てくると思う。新聞でも署名が行われていることは取り上げられていたのを見たが、地域協議会として書面で要望を出すことは可能なのだろうか。

**【數井憲一会長】**

おそらく意見書という形で提出するのだと思う。地域協議会の役割として、市長から諮問があった場合や自主的審議事項で市に対応を求める場合に答申や意見書を提出するという流れである。

市からも話があったが、雪だるま高原施設がなくなるのではなくて、それを運営する指定管理者を今探している。署名活動の話も含め地域協議会として、市に意見する意見書ではなくて、市の取り組んでいることを後押しするような意見書を出してはどうかという話もある。このことについて、いかがだろうか。

**【山岸重正副会長】**

このことは、自主的審議事項として審議し、意見書を出してはどうか。地域協議会委員として責任は果たさなければならないのではないかと。

**【市川所長】**

色々な意見が出ている中で、何を自主的審議事項とするかということで委員の皆さんもお悩みなのかと聞きながら感じている。地域でも署名活動という形で動きがあるが、新聞等では、キューピットバレイ解散という風に報じており、安塚区にあるキューピットバレイがなくなってしまうと思っている方々もおり情報が正確に伝わっていない状態である。その中で地域協議会としてどのように応援するメッセージでの意見書とするか難しいと私も感じており、答えがすぐに見つからない。

**【山岸重正副会長】**

市長もキューピットバレイを無くすのではなく、新しい指定管理者を早急に探すという意向であるというのに私らが意見書を出してどうなるのかということもあるが、個人的には何かしたいという思いもある。

**【長谷川直樹委員】**

地域協議会として何か市長に思いを届けたいがいかがか。

**【數井憲一会長】**

従業員の生活もあるし、早急に指定管理者を探してほしいという要望でもよいのでは

ないか。

**【小松光代委員】**

キューピットバレイを廃止するというのであれば、意見書を出すのがよいと考えるが、市としても指定管理者を全力で探すという意向であるからどういう形が地域協議会として良い形でできるのか難しい。

**【市川所長】**

今回会議で発言している内容は会議録としてまとめられ、公開もされるので皆さんが議論された内容は他の人に発信できる。また、地域協議会として臨時的な地域協議会だよりを発行し、今回の会議で担当課へ早急に指定管理者を見つけるよう要望したという内容を安塚区内の皆さんに周知するのも1つのやり方としていかがだろうか。

**【數井憲一会長】**

議会内容を新聞等で報道されるが、市長が答弁したという報道はあまり多くなく、多くは担当部長の話が載っている。

**【市川所長】**

一般質問も本日の議会で行われ、その後補正予算では少雪で営業が滞った部分の補填等議論されていくので、見守っていただければと思っている。

**【數井憲一会長】**

議会の流れを見守るとのことか。

**【市川所長】**

そうである。

**【數井憲一会長】**

地域協議会として意見書は出さずに見守っていただきたいということか。

**【市川所長】**

誤解して受け止められることを心配している。例えば、地域協議会の意見書となると、見る人によっては市が(株)キューピットバレイの解散について何も対応をしていないと誤解して捉えられることを危惧している。

**【石田ひとみ委員】**

正しく地域協議会としての意向が住民に伝わればいいが、見る人によって捉え方も様々である。誤解されるのは地域協議会としても困る。

**【長谷川直樹委員】**

市は前向きに指定管理者を探しているということであるが、キューピットバレイがなくなってしまうのではないかと不安に思っている住民がいる中で、署名活動が行われている。地域協議会としても、説明を聞いてもう一押しできるような意見書を提出してはどうか。意見書を出したからといって、住民から地域協議会は何をやっているなどといった批判は言われたいのではないか。

**【松野等委員】**

お願いというような形で意思表示は必要ではないか。

**【數井憲一会長】**

議会でも一般質問が出ているが、議会は議会として別に考えてよいのではないか。

**【池田嘉久委員】**

思いは皆同じである。

**【長谷川直樹委員】**

その思いを形にして市に提出してはどうか。

**【山岸重正副会長】**

所長から話も聞いたが、市へお願いの文書として意見書を出してもよいのではないか。

**【市川所長】**

市としては、状況が後退しているのではなく、前進、存続する方向で向かっている。例えば、直江津のイトーヨーカ堂が撤退した際に、最初は住民から不安の声が上がったりもしたが、今新しい姿になろうとしている。皆さんが不安になる気持ちも分かるが、私の立場から言わせていただければ、どうか見守っていただければと思っている。しかし、どうしてもというのであれば、自主的審議事項として取り上げていただいて、応援のメッセージ等必要な形で検討いただくことも、私から皆さんの気持ちを抑えるようなことはできない。

**【數井憲一会長】**

私も所長の立場であれば同じことを思う。

**【長谷川直樹委員】**

所長の立場からすれば辛いことであると思う。しかし、地域の代表という立場から、何かを出さなければならない。所長の説明を聞いて、そのとおりにするということでも

ないと思う。地域協議会として、市長を批判するのではなく応援するという形で、一刻も早く存続できるよう努力してほしいという意見を出してもよいのではないか。町内会長等が一生懸命に署名活動している中、地域協議会が何もしないというのはいかがなものか。

**【秦克博委員】**

気持ちは皆同じであるが、手段として何が正解なのだろうか。

**【長谷川直樹委員】**

正解はないのではないかと。しかし、地域協議会としての意思表示は必要である。

**【松苗正二委員】**

私は意見書を出すべきだとは思いますが、所長の話聞いて、意見書を出すことによって弊害が出るのであれば、出す代わりに署名活動を一生懸命頑張る方がよいと考える。新聞に出るくらいキューピットバレイが解散するという事は大きな話題であるのに、市から何もそれに対する事前の説明がなかったことの方が疑問である。

**【中村真二委員】**

デリケートな部分であるため、判断がつかねる。会長と事務局とで相談した上で決めていただきたい。意見書をただ出せばよいとは思わないが、このまま何もしないというのも心苦しい。

**【中島勝義委員】**

どうしたらよいか迷っている。長谷川委員の意見も所長の意見も分かる。はっきりしなくて申し訳ないが、迷っているというのが率直な気持ちである。

**【小松光代委員】**

声を出さなければならないとは思いますが、所長の話聞くと、どれが正解なのか判断ができない。気持ちはあるが、どれが正解なのか難しい。

**【長谷川直樹委員】**

それほど難しいことか。

**【小松光代委員】**

難しいことである。

**【長谷川直樹委員】**

気持ちがあれば出すべきではないか。

**【小松光代委員】**

強引に自分の気持ちを押し付けないでいただきたい。私にとっては難しい問題である。

**【國保信夫委員】**

非常に熱い気持ちを持っているのであれば、出すべきである。

**【石田ひとみ委員】**

どうにかしたいという気持ちはある。しかし、地域協議会としての身分でどういう立場がとれるか。私はキューピットバレイに長く務めており、実情は分かる。(株)キューピットバレイという会社は解散するが、雪だるま高原というスキー場と温浴施設は無くしたくないという気持ちとは別に考えなければならない。市が別の指定管理者を探しているという状況について、もう少し様子を見てから地域協議会としての意見を言ってもよいのではないか。署名活動と横並びで行動を共にするのは少し違うと思う。ここではまだ早すぎると思う。

**【池田嘉久委員】**

地域の会合でもどうすればよいのかという話は出た。どちらの意見もすごく気持ちは分かる。どうするのがよいのか迷っている。出せるのであれば出した方がよいと考える。

**【山岸重正副会長】**

両方の意見が出ているが、私は今回、見守るのがよいのではないかと考えている。最初は出した方がよいと考えていたが、市から説明を受けたら出そうという言葉がなくなってしまった。無責任かもしれないが、市長がやるという意向なのであるから信じてみようという気持ちである。何もしないというのも心苦しいが、今は議会の流れを見守ってからの判断でもよいと思う。

**【長谷川直樹委員】**

所長から地域協議会だよりに載せるという案もあり、この会議が会議録として公表され周りに見てもらえることができるという話もあったが、実際見ている人はどれほどいるだろうか。私は、地域協議会として一番の発信力というのは市長や議長へ意見書を出すことであると考えている。

**【市川所長】**

色んな意見が出たが、自主的審議事項はまずは自分たちで地域の課題等を調査しながら審議した結果として自分たちはこういった努力をしよう、一方で市にはこういった支

援や協力をしてほしいといった場合に意見書を出すというのが流れである。また、地域協議会が要望団体という捉え方をされては私自身の立場としては非常に心苦しいと思っている。市の情報をお伝えさせていただきながら、地域協議会委員の皆さんから地域にとって適切かどうか判断していただいたり、地域と市のパイプ役になって市の施策に対し意見を述べていただいたりする組織として考えているので、地域協議会が要望団体という風に捉えられるのが心苦しいという気持ちである。

**【長谷川直樹委員】**

それは建前である。他の方はそんな風に思っていない。所長の立場は分かるが、地域の方はなぜ地域協議会は動かないのかという意見しかないはずである。他の区からは安塚区地域協議会は意見書も出せないのかと言われるのはいかがなものか。

**【數井憲一会長】**

色んな意見が出たが、任期もあるので、出すなら早い方がいいが反対の意見もある。ここで多数決を取りたい。意見書を出すことについて賛成の方は挙手願いたい。

(挙手1名)

反対の方は挙手願いたい。

(挙手1名)

**【山岸重正副会長】**

会長判断でよいのではないか。

**【數井憲一会長】**

そういうわけにもいかない。

**【長谷川直樹委員】**

本当は多数決の方が良いが、賛成1、反対1で後の方が棄権であれば決められない。

**【數井憲一会長】**

それでは、私の意見でよいか。

(「よい」の声あり)

私は、出すべきであると思う。しかし、事務局から実情を話していただいた内容を考慮し、今回は意見書を出さないこととする。心情としては出したい気持ちである。

他に全体を通して意見等あるか。

(「なし」の声あり)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-592-2003 (内線 23)

E-mail : yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。